

成果物一覧（その他イベント）

No	成果物	イベント
1	WEBチラシ	大阪湾を知ろう！2018～海と日本PROJECT～
2	WEBチラシ	スナメリの調査 海と日本PROJECT
3	ポスター	海のお宝探検隊in下北ー海と日本PROJECTー
4	ポスター	北の海の七福神（キラリス）ミニ水族館 海と日本PROJECT 北の海の七福神（函館空港）ミニ水族館 海と日本PROJECT
5	チラシ	マリン・ラーニング 魚拓づくり 海と日本PROJECT
6	チラシ	海の宝を育む環境・生き物たち 海と日本PROJECT
7	チラシ	練習船を使った先端研究に触れてみよう！ 海と日本PROJECT
8	チラシ	水中ドローンで海の生物を観察しよう！ 海と日本PROJECT
9	チラシ、ポスター	その“サーモン”どこからきたの？ 海と日本PROJECT
10	チラシ、ポスター	海の宝わくわくサイエンスツアー ～海と日本PROJECT～
11	チラシ、パズル、ワークシート、パネル	海って結構面白い 海の写真展とワークショップ 海と日本PROJECT
12	チラシ	陸に上がった北大練習船うしお丸を観察する 海と日本PROJECT
13	チラシ、ポスター、学びシート	海と日本PROJECT いのちを育む“海”～海の生物多様性を学ぼう！
14	チラシ	科学夜話 海の宝イカの話 海と日本PROJECT
15	チラシ	海と日本PROJECT 鹿児島島のサメを調べる～サメ解剖教室～
16	チラシ	海と日本PROJECT バイオロギングで知る魚の行動
17	チラシ	海の中を覗いてみよう！ 海と日本PROJECT

No. 1 WEBチラシ



主催：海遊館
〒552-0022 大阪市港区海岸通1-1-10
TEL：06-6576-5545

共催：NPO法人 南港ウェットランドグループ
北海道大学大学院水産科学研究院

【開催イベント日程】

- 天保山岸壁での生物調査
 - 5月26日（土） 第1回天保山岸壁での生物調査
（大阪湾生き物一斉調査）
 - 8月4日（土） 第2回天保山岸壁での生物調査
- 外来生物調査
 - 6月30日（土） 舞洲人工島の観察
 - 7月7日（土） 下荘漁港と近隣の磯の観察
 - 8月4日（土） 外部講師による講話
- 南港野島干潟での生物調査
 - 6月10日（日） 干潟の生物調査
（大阪湾生き物一斉調査）
 - 7月25日（水）または8月22日（水）
カキ礁生物調査 & 水中ビデオ撮影
6月・8月（月1回、日は未定） 干潟の魚類調査
- 南港野島干潟保全作業
 - 7月14日（土） カキ礁増設作業

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



No. 2 WEBチラシ



スナメリの調査 海と日本PROJECT

【日程】

- 5月19日（土）：一般参加あり
- 6月23日（土）：一般参加あり
- 7月7日（土）：一般参加なし

※各日程に定員があります。

スナメリとは？

スナメリは、おとなになっても体長2m程度の小型のハクジラの仲間です。台湾から日本にかけての温帯アジアの沿岸に分布。日本では、主に仙台湾～東京湾、伊勢湾・三河湾、瀬戸内海(大阪湾含む)～響灘、大村湾、有明海・橘湾の5海域に生息しています。背びれがなく、くちばし(吻)もありません。体の色は灰色。大阪府のレッドリストでは絶滅の危険が増大している種に指定されています。

主催：海遊館
〒552-0022 大阪市港区海岸通1-1-10
TEL：06-6576-5545

共催：北海道大学大学院水産科学研究院
協力：NPO法人 南港ウェットランドグループ

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



No. 3 ポスター



No. 4 ポスター

可愛い七福神達を探そう！

北の海の七福神

ミニ水族館

海と日本PROJECT

会場① キラリス西館
 開演時間 2018 7.1(日) ▶ 9.30(日)

会場② 函館空港 ロビー
 開演時間 2018 8.1(水) ▶ 8.31(金)

ミニ水族館に棲む海の仲間達

No. 5 チラシ

マリン・ラーニング 魚拓づくり

海と日本PROJECT

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

定員20名 要事前申し込み

日時： 2018年
 7月21日(土) 14:30~16:00

会場： 函館市国際水産・海洋総合研究センター 実習室

定員： 20名 (小学校高学年・中学生・高校生優先)

※申し込みは7/17(火)まで、メール・電話にて

講師：北海道大学 名誉教授 原彰彦 (Akihiko Hara)

昭和22年生まれ。昭和46年北大水産学部卒業。北海道大学水産学部長を経て北海道大学名誉教授。専門は魚類の血清蛋白に関する研究。魚拓に関して川政依竿(川政 勲)先生に師事。

お申込み・問合せ

北海道大学大学院水産科学研究院
 マリン・ラーニング事務局 (平日10時~17時)
 ☎ 0138-40-5544 ✉ umicon@fish.hokudai.ac.jp
 HP: <http://www.umicon.jp>
 詳細はホームページのイベント案内をご覧ください

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY
 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
 海と日本 PROJECT

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

夏休みセミナー
&
ワークショップ

海の宝を育む環境・生き物たち

「電子紙芝居」を作り

海の環境を考えてみよう!

海と日本PROJECT

2018年7月28日(土)

会場 円山動物園 動物科学館ホール
(札幌市中央区宮ヶ丘3番地1)

この100年間で、地球上の海の温度(水温)はどの位変化しているか、ご存知でしょうか? 実は1.1度も上昇しています。海水温の上昇により、海の中では生き物(魚介類・海藻など)に様々な変化が起きています。私たちの生活を支える海の環境を守り続けるためには、はたして何ができるのでしょうか?

北 北海道大学大学院水産科学研究院では、この夏、海の環境を考える「夏休みセミナー&ワークショップ」を開催いたします。セミナーでは、北大の研究者が海の環境についてお話をします。また、ワークショップでは、海をテーマとした「電子紙芝居(プレゼンテーション)」を作るワークショップを開きます。

作った電子紙芝居は、**夏休みの自由研究**としても最適です!

第1部 講演

13:00~13:30(開場12:45)

海も地球もかせ気味?!
プランクトンを守れ!!

芳村 毅 先生 (北海道大学大学院水産科学研究院)
よしむら たけし

参加対象・定員 小学生~社会人 100名

第2部 ワークショップ

13:30~15:30

海をテーマにした電子紙芝居づくり
~あつというまに自由研究~

加賀城 匡貴 先生 (アーティスト)
かがじょう まさき

参加対象・定員 小学生~中学生 25名

第2部ワークショップ参加希望の小学生~中学生は、第1部からの参加をお願いします。

プログラム

参加方法 **申し込み不要 先着順** (円山動物園への入場料はかかりません) 詳しくはこちら

(主催) 北海道大学大学院水産科学研究院 (後援) 札幌市円山動物園 / 札幌市教育委員会 / 北海道新聞社
(お問合せ: awww) (株) 通称デジタルメディア (担当: 海海) TEL: 011-210-5767 e-mail: marine@aurora-net.or.jp

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

No. 7 チラシ

練習船を使った先端研究に 触れてみよう!

海と日本PROJECT

海の宝をめぐる学びと体験 マリン・ラーニング

おしよろ丸V世

北大練習船の
見学と海の調査
研究のミニレク
チャーだよ

2018年7月29日(日)
開催時間(10時・13時)
東京港(月島ふ頭)

北海道大学水産学部附属練習船「おしよろ丸V世」の
見学と練習船を使った海の調査・研究のミニレクチャー

お申込み・お問い合わせ

北海道大学大学院水産科学研究院
マリン・ラーニング事務局 (平日10時~17時)

〒041-8611 北海道函館市港町3-1-1
TEL: 0138-40-5544 FAX: 0138-40-8889

このイベントは、
海と日本PROJECTの
一環で実施しています

No. 8 チラシ (表)

海中ドローンで海の生物を観察しよう！ 海と日本PROJECT

水中ドローンで海の生物を観察しよう！

飛行型ドローンは近年身近なものとなりましたが、ROV (水中ドローン) もめざましく普及が進んでいます。この体験会では、未来を担う若者の皆様に実際に水中ドローンを操作してもらい、普段観察することが困難な海中での生物の様子の撮影に挑戦いただけます。この体験を通して、海水魚を身近に感じていただければ幸いです。

講師 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
みやした かずし
宮下 和士 教授 (医学博士)

水中の観察技術の開発や、開発した技術を使った水中生物の生態研究などに従事。特に魚群探知に関する研究については世界をリードする研究者である。また近年はバイオセンシングに注目したプロジェクトを立ち上げ、これまでない課題を開発、応用することに力を注いでいる。産学官連携、国際貢献などの分野においても多数の実績あり。
著書には、「フィールド科学への招待」(共著、三共出版)、「スマート農業」(共著、農林統計出版) などがある。

当日使用予定の水中ドローン
PowerVision社製 PowerRay
その他、Chasing Innovations社製Gladiusも使用予定です

中高生のみなさまは、どなたでもご参加いただけます
(主に渡島、桧山近郊在住の中高生が対象)

日程：平成30年8月4日(土) 10:00 ~ 17:00 (詳細は裏面)
場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター (北海道函館市弁天町20-5)
参加費：無料 (昼食は各自持参)
定員：20名程度 (グループ単位、保護者同伴での参加可能)

体験のお申し込み方法

以下の住所にメール、FAX、郵便および電話いずれかでお申し込みください。あわせて下記の必要事項をお伝えください
「学校名、学年、氏名、住所、電話番号、E-mailアドレス」

申し込み先
北海道大学大学院水産科学研究院
マリン・ラーニング事務局 (平日10時 - 17時)
〒041-8611 北海道函館市港町3-1-1
Tel: 0138-40-5544, FAX: 0138-40-8889
E-mail: umicon@fish.hokudai.ac.jp

体験内容の問い合わせ先
北海道大学
北方生物圏フィールド科学センター
生態系変動解析分野
〒040-0051 北海道函館市弁天町20-5
函館市国際水産海洋総合研究センター217
Tel&FAX: 0138-85-6625

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

No. 8 チラシ (裏)

・スケジュール

8/4 (土) 10:00 函館市国際水産・海洋総合研究センター集合

「海洋生物の観察」に関する講義

「水中ドローン」に関する講義

11:00 水中ドローンを用いた海洋生物の観察
(主に函館湾近郊、悪天候時は室内水槽に変更)

12:00 昼食

13:00 水中ドローンで撮影した写真/動画の観賞

14:00 撮影した海洋生物の判別、データ整理

17:00 解散

注意事項

- 会場付近に飲食店はありません。昼食は各自で用意してください。
- 体験会は野外での活動を含むため、ジャージなどの動きやすく汚れても良い服装、靴をご用意ください。
- 当日の予定は、天候などの理由により変更される場合があります。
- 撮影した写真・動画データは提供可能です。ご希望の方はUSBメモリなどの記録媒体をお持ちください。

会場へのアクセス

函館駅から
・市電&徒歩で約30分
(函館どつく行き、函館どつく下車 徒歩15分)
・タクシーで約15分

お車でお越しの方
※函館市街を走行する際は、必ず市街地を走行してください。
駐車場(無料) 一般乗客者用 110台

PowerRayで撮影した函館湾の魚

PowerRayで撮影した函館湾の海底

PowerRayで撮影した船着場の様子

No.9 チラシ、ポスター

サケふるセミナー2018

北々亭 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本PROJECT

その“サーモン”どこからきたの?

～海と日本PROJECT～

回転寿司でも大人気のサケ。でも、今食べた「サケ」が、何という種類でどこで育ったのか、皆さんはご存じでしょうか。北海道大学の清水宗敬准教授によるサケのお話とともに、握り寿司体験や食べ比べなどを通じて、食材としてのサケの魅力に迫ります。

開催日時 2018年8月4日(土) 13時～15時
会場・参加費 千歳水族館 2階学習室・参加費無料
対象・定員 小学校4年生～高校3年生・40名 (事前申込必要 応募者多数の場合抽選)
申込期間 2018年7月7日(土)～7月29日(日)
申込方法 期間中午前9時から17時に電話 0123-42-3001
 またはメール salmon@chitose-aq.jp に件名「サーモンどこから」でお申込みください。
 メールには、お名前、学校学年、電話番号のご記入をお願いします。後日抽選結果をご連絡します。

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています
 共催:北海道大学大学院水産科学研究院 協力:株式会社ダブリューコーポレーション / 北々亭 千歳店

〒066-0028 千歳市花園2丁目312番地 サーモンパーク千歳内 TEL 0123-42-3001 FAX 0123-42-2310
 E-mail: salmon@chitose-aq.jp, http://www.chitose-aq.jp/

入場料(個人:10人以上) ■大人800円/600円 ■高校生500円/400円 ■小・中学生300円/200円 ■幼児無料
 開館 ■営業時間9:00～17:00 ■休館日:企画展開催期間中 休館

サケのふるさと 千歳水族館

No.10 チラシ、ポスター

海の宝わくわくサイエンスツアー
 ～海と日本PROJECT～

THE NIPPON FOUNDATION 海と日本PROJECT

オリエンテーション 時間: 9:30～9:45
 ツアーの概要と食品製造工場見学について説明します。

第1部 食品製造工場見学

時間: 10:20～11:50
 場所: 日乃出食品株式会社(亀田郡七飯町緑町3丁目2番1号)
 ※ 北海道立工業技術センターからバスで移動します。

豆腐製造工場を見学し、食卓でお馴染みの豆腐ができるまでの製造工程を学びます。お豆がどうなり豆腐になるのか? 先人の知恵を学びます。

第2部 科学実験講座

講師: 立命館宇治高等学校理科コース主任 渡辺 儀輝 教諭
 時間: 13:00～15:30
 場所: 北海道立工業技術センター会議室 (函館市桔梗町379番地)

講師: 渡辺儀輝先生

講師略歴
 1966年北海道美幌町生まれ。市立函館高等学校教諭を経て、現在は立命館宇治高等学校理科コース主任を務める。はこだて国際科学祭「青少年のための科学の祭典函館大会」事務局長。日本物理教育学会大塚賞、文部科学大臣表彰科学技術賞

食品の日本代表といえる豆腐。その製造方法は海水を用いた古来からの知恵が活かされています。お馴染みナベ先生の面白科学実験と、わかりやすい解説で理解をすすめて、海の魅力を体験しましょう!

海の宝アカデミックコンテスト2018について 15:30～16:30
 北海道大学大学院水産科学研究院担当者から説明があります。

開催日時: 平成30年8月6日(月) 9時30分集合
 開催場所: 北海道立工業技術センター (函館市桔梗町379番地)
 対象・定員: 小学5年生～中学生 20名
 参加費: 無料 (お弁当代実費)
 ※ 裏面の応募用紙または当財団ホームページからお申込みください。

(申込先)
 (公財) 函館地域産業振興財団 産業支援課
 TEL: 0138-34-2600 FAX: 0138-34-2601
 Mail: staff_17@techakodate.or.jp
 URL: http://www.techakodate.or.jp

主 催: (公財)函館地域産業振興財団
 共 催: 北海道大学大学院水産科学研究院

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

申込締切 7/27

No. 11-1 チラシ



【開催期間】 平成30年 8月6日(月)～8月12日(日)

【会場】 函館 蔦屋書店 2Fステージ (住所:北海道函館市石川町85-1)

■海の写真展 (8月6日～8月12日) 2Fステージ



写真提供

- 三保水中生物研究会 (静岡)
東海大学海洋学部 准教授 鉄多加志
- 北海道大学水産学部 写真部
- おしよ丸 三等機関士 宇野浩之
- 北海道大学水産学部
& マリン・ラーニング撮影班

■ワークショップ (8月6日～8月10日) 対象:小学校高学年・中学生・高校生

下記を除き期間中10:00～17:00はどなたでも全てのワークショップを体験できます。

※**ロープワークは要事前予約7/31(火)締切** お申込み:北海道大学大学院水産科学研究院 マリン・ラーニング事務局

午前・午後	8月 6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)	10日(金)
11:00 - 12:00 2Fステージ	海のバズル 提供: JAMSTEC	ペーパークラフト 提供: JAMSTEC	海のバズル 提供: JAMSTEC	ペーパークラフト 提供: JAMSTEC	海のバズル 提供: JAMSTEC
14:00 - 15:30 2Fステージ	海のバズル 提供: JAMSTEC	海の宝を探そう! 提供: JAMSTEC	海のバズル 提供: JAMSTEC	海の宝を探そう! 提供: JAMSTEC	海の宝を探そう! 提供: JAMSTEC

ロープワーク講師 松井良春: 水産・海洋コーディネーター (元北海道大学水産学部附属練習船おしよ丸 甲板長)
海の宝を探そう! (ブレインストーミング): 海の宝を見つけて電子紙芝居にチャレンジしよう!
ペーパークラフト提供: 国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC ジャムステック)

■海にふれる講演

14:00～15:30 2Fステージ

8/11 (土) 深海魚ってどんな魚

深海は真っ暗やみで餌が少なく、水圧が高く、水が冷たいところです。頭の上からチョウチンをぶら下げ、オスを自分の体の1部にしたメスなど奇妙な魚の世界へ案内します。

講師: 北海道大学名誉教授
尼岡邦夫 (Kunio Amaoka)

14:00～15:30 2Fステージ

8/12 (日) 海を学ぶ船: 北海道大学「おしよ丸V世」

「おしよ丸」における最近の活動(研究・実習航海)の目的及び内容紹介や船の観測作業性能についてお話します。

講師: 北海道大学水産学部附属練習船おしよ丸 海洋調査士
今井圭理 (Keiri Imai)

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています



お問合せ 北海道大学大学院水産科学研究院
マリン・ラーニング事務局 (平日10時～17時)
☎ 0138-40-5544 ☒ umicon@fish.hokudai.ac.jp

No. 11-2 パズル

マリン・ラーニング

海のバズル

折る

作り方

- ① 外枠に沿ってパズルを切り取る
- ② 折り目から半分おいてのリ付け
- ③ 真ん中(白部分)を切り取る
- ④ 全てのマス目に沿って折り目を入れる



No. 11-3 パズル解説

マリン・ラーニング

海のバズル



動画で答えあわせ! URL: <http://www.umicon.jp> (ホームページをダウンロードできます)



ホテイオ

ゴッコとも呼ばれています。普段は深海に生息していますが、冬場に浅瀬に上がって来て産卵します。姿が七福神の布袋さんに似ています。



エトヒリカ

つばさをはたいて飛び、水の中もぐります。土の上に穴をほって巣をつくり、1つの卵をうみます。30年くらい生きて、北海道ではとても数が少なく、絶滅が心配されています。



ガゴメ

主に西側の東海岸に生育する珍しい昆布。葉の全面にある種の間目は、おを養い長寿につながります。強い粘り力特徴で、フコイダンが多く健康食品として注目されています。



ヤリイカ

寿命は1年。体は細長い円筒形をしています。ヤリイカは高級なイカとして珍重され、寿司ネタや刺身として利用されています。



マンボウ

円盤のような大きなカラダに大きく長いヒレがついていて、浅海の底層をゆっくり泳いでいるのが目撃されるフアの仲間です。メス1尾が数億の卵を生むことでも有名です(セキツイ動物でナンバーワン!)。



うみほらず

海にすむかいぶつ。寿命はない。ぼわっとあられ、海の宝アカデミックコンテストへぞいます。



No. 11-4 ワークシート

海の宝を探そう！
(プレインストーミング)



名前

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY  海日本 PROJECT

1

がなくなったらどうなる？

だから・・・

3

のいいところ (どうして宝なの?)

2

_____は、

_____にとっての

海の宝だ！！

4

No. 11-5 パネル



結構
面白
って

海の写真展とワークショップ
海と日本 PROJECT



No. 12 チラシ

陸に上がった北大練習船うしお丸を 観察する 海と日本PROJECT

海の宝をめぐる学びと体験 マリン・ラーニング

普段は見られない

うしお丸

の水面下を覗い
ちゃおう



水中ドローン操作
体験も予定！！

開催日時:2018年8月10日(金)10-12時/13-15時
開催場所:函館市国際水産・海洋総合研究センターおよび
うしお丸(総合研究センター前の函館港弁天岸壁)
定員・対象:40名・小学生高学年・中学生・高校生(事前応募)
応募締切:2018年8月3日(金)必着
参加費:無料(応募者多数の場合抽選)



北大水産学部練習船「うしお丸」のドック作業(ビデオ映像)を通して
船体構造や機能を学びます。うしお丸の船内見学会も予定！



お申込み・お問い合わせ

北海道大学大学院水産科学研究院

マリン・ラーニング事務局 (平日10時~17時)



このイベントは、
海と日本PROJECTの
一環で実施しています

〒041-8611 北海道函館市港町3-1-1
TEL:0138-40-5544 FAX:0138-40-8889



No.13-1 チラシ（表）、ポスター

海の宝をめぐる学びと体験 マリン・ラーニング CHIBA 北海道大学 日本 海と日本 PROJECT

海と日本PROJECT
いのちを育む“海”
～海の生物多様性を学ぼう！

平成30年8月11日(土・祝)
午前9:30～午後3:00
前日が雨天の場合、8月26日(日) 午前9:30～午後2:00に延期

参加費無料中 対象・定員：中学生・高校生、40名
開催場所：千葉県勝浦市 千葉県立中央博物館分館 海の博物館
参加費：無料（ただし傷害保険料として、おひとり50円が必要です） 詳しくは裏面をご覧ください

千葉県立中央博物館 分館海の博物館 千葉県勝浦市吉尾123
TEL：0470-76-1133 FAX：0470-76-1821

共催：北海道大学大学院水産科学研究院 *このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

No.13-1 チラシ（裏）

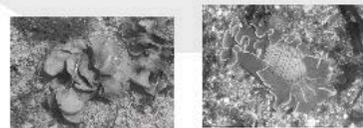
海の生物多様性を体感しよう！

「いのちを育む“海”～海の生物多様性を学ぼう！」では、千葉県勝浦市の磯で、魚、ウニ、ヤドカリ、イソギンチャクなど、ふだん陸上では見られない生物を観察します。この夏、海の生物多様性にふれてみましょう！

「海の生物多様性」とは、海にいろいろな生物がいる、ということです。当たり前だと思われるかもしれませんが、実は、現在知られている生物の種類数は、海より陸の方がはるかに多いのです。既知の生物種の約6割を占める昆虫や、地上の多くを覆う緑葉植物は、海にはほとんどいません。それにもかかわらず、海には多様な生物がいると感じるのは、なぜでしょうか。どうして多様な生物がくらしていただけるのでしょうか？
このイベントでは、さまざまな海の生物の観察をおし、生物多様性について考えてみます。

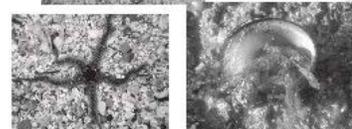
海の生物、多様なグループ

海では、カイメン、イソギンチャク、貝類、甲殻類、ウニ、魚など様々なグループの生物が見つかります。海では陸上より多様な生物がくらしています。見た目も体の作りも全く違う生物たちが見られるので、海には多様な生物があると、容易に感じられます。



ヤドカリから見る生物多様性

磯にいる多様な生物の中で、ヤドカリに注目してみます。勝浦の磯では数種類のヤドカリが見られます。複数種のヤドカリたちがなぜ共存しているのか、不思議ではないですか？ヤドカリをとおして、生物多様性について考えてみましょう。



講師 和田 哲（北海道大学大学院水産科学研究院、動物生態学研究室、教授）*雨天延期の場合、不参加
村田明久（千葉県立中央博物館分館海の博物館 主任上席研究員）

申込方法

「マリンラーニング参加希望」と明記の上、
①学校・部活で参加する場合：学校名、代表者（引率教員）名、連絡先、参加する生徒の学年と人数
②個人で参加する場合：参加者名、学年、連絡先、学校名
を記入し、ハガキ、FAX、電子メールのいずれかでお申し込みください。
申込締切：平成30年7月31日(火) (必着) (申込多数の場合は抽選となります)

お問い合わせ・お申込み先

千葉県立中央博物館分館海の博物館
〒299-5242 千葉県勝浦市吉尾123
TEL: 0470-76-1133 FAX: 0470-76-1821
e-mail: umihaku@chiba-muse.or.jp
URL: <http://www2.chiba-muse.or.jp/UMIHAKU/index.html>



No. 13-2 学びシート (表裏)

海の生きものを知りたいあなたへ！ マリン・アークニジ
海と日本PROJECT いのちを育む“海”
～海の生物多様性を学ぼう！

磯の生きもの 学びシート

千葉県立中央博物館 33階 海の博物館

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

藻類のなかま ヒラアオノリ	緑藻のなかま ヒラアオノリ	刺胞動物のなかま ヨロイソギンチャク (注: 変じた状態、右: 真いた状態)	扁形動物のなかま オオツノヒラムシ
ヒジキ (上: 冬～春、下: 夏)	オオバモク 	環形動物のなかま ミズヒキゴカイ	軟体動物のなかま (貝類) ヒザラガイ
ウミトラノオ 	ウミウテワ 	オオヘビガイ 	イボニシ
紅藻のなかま ビリヒバ	海綿動物のなかま クロイソカイメン	クモガタウミウシ 	キノハナガイ
		ケガキ 	

海の生きものを知りたいあなたへ！ マリン・アークニジ
海と日本PROJECT いのちを育む“海”
～海の生物多様性を学ぼう！

磯の生きもの 学びシート

千葉県立中央博物館 33階 海の博物館

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

節足動物のなかま (甲殻類) クロフジツボ	イソコバサミ 	ホンヤドカリ 	脊索動物のなかま ヘンゲボヤ
フナムシ 	イソクズガニ 	ヒライソガニ (色や殻はさまざま)	メシナ
イソスジエビ 	ヤツデヒトデ 	ニホンクモヒトデ 	カゴカキダイ
マナマコ 	バフンニ 	ムラサキウニ 	ソラスズメダイ
			トビイトギンボ
			ヘビギンボ
			アゴハゼ
			クサフグ

No. 14 チラシ

科学夜話 海の宝イカの話

海と日本PROJECT

日時：2018年8月21日（火）19:00-20:30
会場：函館市青函連絡船記念館摩周丸サロン（函館市若松町1 2 番地先）
対象：中高生以上
定員：先着順/30名（申込不要、当日会場で受付）
講師：杉本親要（沖縄科学技術大学院大学）

問合せ：サイエンス・サポート函館事務局
TEL0138-34-6527（平日9-17時） メールinfo@sciencefestival.jp

参加無料

主催：サイエンス・サポート函館
共催：北海道大学大学院水産科学研究院

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

北海道大学 HOKKAIDO UNIVERSITY

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

海と日本PROJECT

海と日本PROJECT 鹿児島県のサメを調べる ～サメ解剖教室～

県内で捕獲されたサメを使い、スケッチする(観察)、種類を調べる(同定)、大きさを測る(計測)、サメの撮影や解剖など初歩の魚類学を、サメ先生から直接指導をしていただきます。

2018年

8月23日(木) 12:00-16:00

場所 かがしま水族館 1階 レクチャールーム
対象 中学生 高校生
定員 20名 (超えたら抽選)
料金 入館料(年間パスポート可)
締切 平成30年7月31日(火) 必着

講師

サメ先生
仲谷 一宏 博士

(北海道大学名誉教授 気仙沼シャークミュージアム名誉館長)

様々なサメ類の形態学、分類学、生態学を中心に研究に従事。2016年からは「さめ先生のサメの歌」をYouTubeで公開中!



申込・問合せ先

はがき、館内のイベント応募はがき、又はホームページ応募フォームに氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ご応募ください。

かがしま水族館 「サメ解剖教室」係

〒892-0814 鹿児島市本港新町3-1

TEL 099-226-2233



応募QRコード

主催：かがしま水族館 共催：北海道大学大学院水産科学研究院



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

海と日本PROJECT ～バイオリギングで知る魚の行動～

「バイオリギング」とは、生きものに小型のカメラや記録計を取り付け、自然下での行動や生態等の動物の知られざる世界を探る、今注目される研究です。この夏、水族館でバイオリギングを体験してみませんか!

実施日 **8月27日(月)** 体験教室は、27日、28日
2日間の連続講座です

講演会

なぜ、ジンベエザメは深く潜り、マグロは速く泳ぐのか? 「えっ! マンボウは昼寝するの?」第一線で活躍するバイオリギング研究者による講演会

場所 かがしま水族館 1階レクチャールーム

時間 27日 12:00~13:20

対象 どなたでも

定員 30名 (先着順) 料金 入館料のみ

体験教室

2日間の連続講座。魚に記録計を装着し、記録計の回収や得られたデータから魚の行動を考察するバイオリギング入門教室です。

場所 かがしま水族館 1階レクチャールーム

時間 27日 12:00~17:00 28日 9:30~12:00

対象 15才~22才

料金 入館料のみ

定員 16名 (超えた場合は抽選) 締切 8月20日(必着)

講師

河邊 玲 博士

(長崎大学海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター 教授)

中村 乙水 博士

(長崎大学海洋未来イノベーション機構 環東シナ海環境資源研究センター 助教)

米山 和良 博士

(北海道大学大学院 水産科学研究院 助教)

申込・問合せ先

はがき、館内のイベント応募はがき、又はホームページ応募フォームに希望する講座名(講演会又は体験教室)、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ご応募ください。

かがしま水族館 「バイオリギング 講演会又は体験教室」係

〒892-0814 鹿児島市本港新町3-1 TEL 099-226-2233



応募QRコード

主催：かがしま水族館 共催：北海道大学大学院水産科学研究院



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています

No. 17 チラシ（表）



海の中を覗いてみよう!

海と日本PROJECT
平成30年 7月29日(日)
8:45~17:00




「日本は四方を海に囲まれた海洋大国」と言われていますが、私達は海の事をどれくらい知っているのでしょうか？「欧米では、中学・高校で海について学習しますが、日本では海については学校では学んでいません。」そこで、「海の中を覗いてみよう！海と日本PROJECT」では、実際に香川大学の調査船カラヌスIIIに乗船し、海洋観測をしながら、海の微小な生物、プランクトンの顕微鏡観察を行うなど、身近な海について学びます。

集合場所	JR 高松駅前 8:45集合(海水池前) 同所にて 17:00解散(予定)
開催場所	香川大学瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション (高松市庵治町鎌野4511-15)
定員・対象	30名 高校生 (参加費無料・多数の場合は抽選)
応募締切	7月17日(火) 必着
申し込み方法	裏面の申し込み用紙に記入のうえ、メール、FAX、郵便のいずれかでお申し込み下さい。先生が取りまとめて下さる学校は先生を通じて一括して申し込んで下さい。



お問い合わせ・お申込み先
〒761-0795 香川県木田郡三木町池戸2393
香川大学農学部 多田研究室
Tel & Fax: 087-891-3148
e-mail: nakaba@ag.kagawa-u.ac.jp

主催：香川大学瀬戸内圏研究センター・香川大学農学部
共催：北海道大学大学院水産科学研究センター

このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています。

No. 17 チラシ（裏）



海の中を覗いてみよう!

海と日本PROJECT

スケジュール

- 8:45** JR高松駅・海水池前集合、バスで、香川大学庵治マリンステーションに移動
- 10:00** マリンステーション到着後、諸注意・班分け
実習（海洋観測 あるいは マリンステーション内で顕微鏡観察など）
- 12:00** 昼食・昼休み
- 13:00** 実習（海洋観測 あるいは マリンステーション内で顕微鏡観察など）
- 16:00** バスで、JR高松駅に移動
- 17:00** 解散（予定）

注意事項

- 実習では、調査船に乗船します。少し濡れたり汚れたりしても良い服装・靴で来て下さい。靴は動きやすいものにして下さい。帽子はツバの小さいものあるいは、ゴムのついたものにして下さい。船の上は風が強く飛びやすいです。
- 昼食、飲み物は各自用意して持ってきて下さい。マリンステーション周辺には飲食店はありません。小さな商店があり、飲み物等は購入できます。
- 荒天で中止の場合は、前日あるいは当日朝に電話あるいはメールで連絡します。

申込用紙

学校名	学年
氏名	性別
住所	
電話番号	
e-mail	